

日本コミュニティ心理学会

第17回大会のご案内

2014年2月吉日

ご挨拶

今年は、『コミュニティ・エンパワメント』をテーマとして、立命館大学にてコミュニティ心理学会第17回大会を開催することになりました。第7回大会をお引き受けしてからはや10年、この間、日本の状況は良くなったと言えるのでしょうか？コミュニティ・サイコロジストとしてやらなければならないことがまだまだ山のようにあるように思われます。みなさまと共に語り合い、学び合い、力づけ合うことのできる大会となれば幸いです。

7月の京都は祇園祭で賑わい、趣があるのですが、残念ながら観光客が多すぎて、宿泊や交通にご不自由をおかけすることになるため、今年度は6月の大会開催となりました。あいにく雨のシーズンですが、雨の京都もなかなかで、もっとも緑が美しく輝く時期です。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

日本コミュニティ心理学会第17回大会

準備委員長 村本 邦子



I 大会日程・スケジュール

1 会 期 2014年6月7日（土）・8日（日）の2日間

※6月6日（金）にプレ・ワークショップを企画しています。

2 会 場 立命館大学衣笠キャンパス 〒603-8577 京都市北区等持院北町56- 1

3 日 程

	6月6日（金） －大会前日－	6月7日（土） －大会1日目－	6月8日（日） －大会2日目－
午前		*ポスター発表 *口頭発表	*自主シンポジウム
昼	*プレ・ワークショップ	*院生の集い	*総会
午後		*大会企画シンポジウム *ポスター発表 *口頭発表	*倫理委員会企画講演 *研修委員会企画シンポジウム
夕刻	*理事会	*懇親会	

※会員による研究発表のスケジュールについては、発表数等によりプログラムを決定します。

II 大会案内

1. プログラム

プレ・ワークショップ

フェミニストリサーチー「フォトボイス」の手法を中心に

日 時：6月6日（金）10：00～16：00

講 師：吉浜美恵子（ミシガン大学社会福祉学大学院教授）

講師プロフィール：

米国カリフォルニア州UCLAにて社会福祉博士号および修士号取得。カリフォルニア州とミシガン州においてソーシャルワーカー免許を保持し、臨床経験も豊富。日米でフェミニスト・アクションリサーチを多岐にわたり実施し、多数の団体やプロジェクトを立ち上げる。東日本大震災後、東北各地でフォトボイスの手法を使ったプロジェクトを実践中である。おもな著作は『女性の健康とドメスティック・バイオレンスーWHO 国際調査 / 日本調査結果報告』新水社（共著）『新版ドメスティック・バイオレンスー実態・DV法解説・ビジョン』有斐閣（共著）。

概 要：フェミニスト・アクション・リサーチの研究法とその例について概要を紹介し、いくつかの手法（予定：フォトボイス他）についての演習を通して実践を試みる。

費 用：1万円（学生・院生6千円）

定 員：先着30名

東日本大震災後のコミュニティ・エンパワメント

日 時：6月7日（土）13：00～16：00

タ イ ト ル：東日本大震災後のコミュニティ・エンパワメント

企 画 ・ 司 会：村本 邦子（立命館大学）

シ ン ポ ジ ス ト：上山 真知子（山形大学）

吉浜 美恵子（ミシガン大学）

団 士郎（立命館大学）

コメンテーター：久田 満（上智大学）

企 画 趣 旨：

東日本大震災後、東北各地でいわゆる心のケアの取り組みが積極的に行われてきたが、コミュニティ心理学として、コミュニティをターゲットにしたエンパワメントの手法について検討したい。本シンポジウムでは、何らかのツールや装置を使いながら、コミュニティの持つ力を活性化させる取り組みを行ってきた3人からその経験について話題提供を頂き、議論を行う。

上山は、被災地に暮らす者として、支援される側としての経験がその人生及び研究スタイルに大きな影響を及ぼしたと考える。東日本大震災発生の直後から、いわゆる「心のケア」がPTSDモデルに偏りがちであることに違和感を持ち、国際的な支援の潮流に「心理社会的な支援」（WHO版の支援の手引書 Psychological First aid: Guide for Field Workers）という考え方があることを知った。支援を継続する過程で、場や「装置」の中に、臨床とケアを含める働きかけの有効性を実感している。3年目の被災地の現状を紹介しながら、「心理社会的支援」について報告する。

吉浜は、東日本大震災後、東北において地元のNGOと協働し、フォトボイス・プロジェクトを立ち上げ活動してきた。被災した女性たちのAAA（アート、アセスメント、アクション）を通して見えてきた女性の被災の経験、防災、災害対応、復興の課題などについて報告する。被災した女性自らが撮影した写真を持ち寄って小グループで継続的に話し合いを重ね、自分の経験の社会的な意味を模索し、社会に伝える「ボイス（声）」を作り、展示会や報告会で発信する過程で、撮影者自身のみならず地元の協働団体や周囲におきた変化を考察し、参加型アクション・リサーチとしてのフォトボイスの効用と可能性について検討したい。

団は、家族療法家であり漫画家であることから、家族にまつわる漫画を多く発表してきたが、立命館大学大学院応用人間科学研究科の東日本・家族応援プロジェクトの中核的なツールとして家族漫画のパネルを作成し、10年計画で東北各地を巡回してきた。これを冊子にした「届けようプロジェクト」も並行して実施している。遠方にいるものは、長期的視点で被災地に関わり続け、歴史の証人（witness）になることが重要だと考えている。

コミュニティ心理学らしい災害後のコミュニティ介入のありかたについて議論したい。

※大会中、立命館大学「東日本・家族応援プロジェクト」漫画パネル展を設置する予定です。

自主シンポジウム

東日本大震災の被災者支援—子ども支援のその後の展開（パート2）

日 時：6月8日（日）10：00～12：00

タ イ ト ル：東日本大震災の被災者支援—子ども支援のその後の展開（パート2）

企 画 ・ 司 会：久田満（上智大学）

シ ン ポ ジ ス ト：黒沢幸子・西野明樹（目白大学）

菅井裕行（宮城教育大学）

萩原豪人・岡本亜美・藤井良隆（NPO 法人しゃり）

中村菜々子（兵庫教育大学）

吉永真理（昭和薬科大学）

企 画 趣 旨：

本シンポジウムは、震災発生直後の第14回大会における「緊急活動報告」、「支援者支援」をテーマにした第15回大会、そして「子どもの支援」について議論した第16回大会に引き続き、「被災した子どもとその支援者の支援活動」に焦点を当て、その後の展開と今後の展望について討論し、今回のような大災害時におけるコミュニティ・アプローチの有効性について検証したい。

シンポジストの黒沢・西野は、宮城県女川町の中学校において国語科教員とともに実施した「俳句・連句づくり」のその後の展開について報告する。菅井は、宮城県および福島県の特別支援学校における支援活動、そして萩原・岡本・藤井は、被災地や埼玉県加須市の避難所において展開した「遊びの出前活動」の意義について報告する。さらに中村は、福島県南相馬市の中学校における生徒への健康教育活動や養護教諭とのコラボレーション活動の経過報告と調査データの分析結果を報告し、最後に吉永は、宮城県の被災地で子どもの支援活動に携わっている NPO 団体と東京都世田谷区の小学校との交流を基盤とした防災教育活動について報告する。

これらの多彩な活動報告を基に、大災害の被災者、特に子ども達やその直接的支援者に対する長期的な支援活動の在り方や有効性、さらに残された課題について討論したい。

倫理委員会企画講演 コミュニティ心理学と倫理

日 時：6月8日（日）13：00～14：30

講 師：村本詔司（神戸市外国語大学名誉教授・立命館大学非常勤講師）

講師プロフィール：

関心領域は、臨床心理学の思想的背景と職業倫理。おもな著書に『ユングとゲーター—深層心理学の源流』『ユングとファウスト—西洋精神史と無意識』人文書院、『魂の探求—古代ギリシャの心理学』大日本図書、『心理臨床と倫理』朱鷺書房、『*Awakening and Insight: Buddhism and Psychotherapy East and West*』Brunner-Routledge（共編著）、『援助専門家のための倫理問題ワークブック』（コウリー他著・監訳）、『APA 倫理規準による心理学倫理問題事例集』（ネイギー著・監訳）など。

概 要：倫理と一口に言っても、いくつかのモデルが複雑に交錯しあっている。特にコミュニティ心理学の研究と実践においてはそのことに留意して意思決定する必要があることを話す。

研修委員会企画シンポジウム

コミュニティ心理学と TEM の出会い—その出会いは幸福な径路をたどるのか

日 時：6月8日（日）15：00～17：00

話 題 提 供 者：話題提供者2名（調整中）

講演者・指定討論者：サトウタツヤ（立命館大学）

指 定 討 論 者：安田裕子（立命館大学）

企 画 趣 旨：

今年のシンポジウムでは質的心理学の分野にとどまらず、看護・福祉・保育といった他領域でも注目を集め、研究事例が蓄積しつつある TEM（複線径路・等至性モデル：Trajectory Equifinality Model）のコミュニティ心理学分野での導入について考える機会を提供したい。シンポジウムでは、はじめにサトウから「コミュニティ・システムの変容を描く可能性としての TEM」というテーマで基調講演を行っていただく。その後、コミュニティ心理学分野の若手研究者2名に研究事例を話題提供していただく。そして、その後それらの研究事例に対して、TEM の開発・研究を推進してきた研究グループの中心メンバーであるサトウと安田から指定討論者としてコメントを頂き、コミュニティ心理学と TEM の出会いが幸福な径路をたどるのか、生産的な活用へと導く分岐点はどのようなものなのかについて具体的に議論を展開していただく予定である。

院生の集い

日 時：6月7日（土）12：00～13：00

- ・院生の交流の場です。院生のみ参加できます。院生の皆さんのご参加をお待ちしております。

懇親会

日 時：6月7日（土）18：30～20：00 レストランカルム（衣笠キャンパス内）

- ・多数のご参加をお待ちしております。事前予約をお願いいたします。



2. 発 表

(1) 口頭発表

- 発表時間は質疑応答を含め1件につき20分程度です。詳細は、Ⅳ. 会員発表募集要項を参照してください。

(2) ポスター発表

- ポスター掲示を行い、発表と質疑応答をお願いいたします。在籍責任時間（質疑応答時間）を設けます。詳細は、Ⅳ. 会員発表募集要項を参照してください。

(3) 自主シンポジウム

共通の研究テーマや実践活動、コミュニティ心理学に関連したテーマについて、数人の報告者が基調報告や研究発表を順に行います。発表や指定討論、ディスカッション等の形式や時間配分は自由です。テーマの設定や司会・発表者・指定討論者の人選につきましては、代表者が責任をもって確定してください。

セッションの割り当て時間は、2時間を目安としますが、発表数等により変更する可能性があります。セッション申込みの詳細は、Ⅳ. 会員発表募集要項を参照してください。

発表資格

- 筆頭発表者・代表者は、2014年4月7日（月）の時点で当学会の正会員であることが必要です。
- 連名発表者は、非会員でも可ですが、大会参加費納入を発表の条件とします。
- 正会員のうち、会費未納の方は、至急過年度年会費の納付をお済ませください。
※発表題目や内容がコミュニティ心理学にふさわしいものかどうかについて、大会準備委員会で審議することがあります。

正会員でない方は、以下のスケジュールに従って、手続きを完了するようにお願いいたします。

- ①入会申込…入会申込書を**2014年3月10日（月）必着**で「学会事務局」にお送りください。
※2013年度中に手続きをされる場合は、2014年度入会希望とお書き添えください。
- ②審査通知…理事会で入会が承認された場合、会費（入会金・年会費）の振込用紙をお送りします。
- ③会費振込…会費振込締切は**2014年3月31日（月）**です。



3. 手続き

(1) 参加申込 申 込 締 切 日 : 2014年3月31日 (月)

- ・大会予約参加・研究発表(口頭発表・ポスター発表・自主シンポジウム)・プレ・ワークショップ・懇親会・昼食(弁当)の申込は、同封の郵便振替用紙の所定の欄にチェックを入れていただき(弁当は、必要な日に○をご記入ください)、その金額を申込締切日の**2014年3月31日(月)**までに払い込んでください。
- ・締切以降の発表申込は受け付けることができません。また、当日参加料金を申し受けます。
- ・郵便振替用紙は、「大会参加申込」と「研究発表申込」の受付証を兼ねております。紛失されないようご留意いただき、大会当日にお持ちください。また院生・学生の方は学生証も持参してください。

(2) 諸費用・大会参加費・懇親会費

	正会員		非会員		懇親会	
	予約	当日	予約	当日	予約	当日
一般	6,000円	7,000円	7,000円	8,000円	4,000円	5,000円
院生・学生	3,000円	4,000円	3,000円	4,000円		

※正規の大学院生が筆頭発表者の場合、学会補助金により参加費は免除となります(試行期間であり、来年度以降の実施については未定です)。申込締切までに、発表希望種別を明記し、大会事務局(jscp2014@gmail.com)にメールでご一報ください。

※懇親会は原則予約制です。余裕がある場合は当日受付を行います。

※大会企画ワークショップ「フェミニストリサーチ『フォトボイス』の手法を中心に」に参加希望される場合は、別途参加費10,000円(学生・院生6,000円)が必要です。定員になり次第、締め切ります。

大会予約参加・研究発表・懇親会の申込締切 **2014年3月31日(月)**
 払込先(郵便振替) 加入者名: 日本コミュニティ心理学会第17回大会
 □座番号: 00950-4-202723

4. その他

- ・宿泊・交通については、ご自身で手配をお願いいたします。
- ・日曜日は、大学内の学生食堂は開いておりません。

5. 連絡先

【第17回大会に関する連絡先】 第17回大会事務局 立命館大学大学院応用人間科学研究科 村本邦子研究室 〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1 E-mail: jscp2014@gmail.com ※連絡は基本的にメールでお願いいたします	【学会・入会に関する連絡先】 日本コミュニティ心理学会会員管理事務局 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター 内 TEL: 03-5937-0578 FAX: 03-3368-2822 Email: jscp-post@bunken.co.jp (事務局長 藤後悦子 常任理事)
---	--

6. 今後の予定

2014年	3月10日(月)	学会入会申込締切
	3月31日(月)	大会予約参加・研究発表・懇親会の申込の締切
	4月14日(月)	研究発表の発表申込書・論文集原稿提出の締切
	5月上旬	学会ホームページにてプログラム公開
	5月中旬	プログラム・発表論文集の発送

※学会ホームページ(<http://jscp1998.jp/>)にて、随時、関連情報をお伝えします。

Ⅲ 会場案内・交通案内

1. 会 場

立命館大学衣笠キャンパス 会場までのアクセス

(1) JR・近鉄京都駅から来場する場合

京都市市バスをご利用の場合

- ・市バス50「北野天満宮・立命館大学前行き」(終点)
- ・市バス205「京都水族館・西ノ京円町・金閣寺道行き」に乗車、『衣笠校前』より徒歩約10分

西日本 JR バスをご利用の場合

- ・JR バス高雄・京北線(京都駅 JR 3 番のりば)に乗車、『立命館大学前』

(3) 阪急西院駅から来場する場合

京都市市バスをご利用の場合

- ・市バス205「金閣寺道・北大路バスターミナル行き」に乗車、『衣笠校前』より徒歩約10分
- ・市バス26「北野白梅町・御室・山越行き」に乗車、『等持院道』より徒歩約10分

京福西院駅からご乗車の場合

- ・京福電鉄嵐山本線・北野線に乗車、『竜安寺駅』／『等持院駅』より徒歩約6分

(2) JR 円町駅から来場する場合

京都市市バスをご利用の場合

- ・市バス15「立命館大学前行き」(終点)
- ・市バス204「西大路通・金閣寺道・北大路バスターミナル行き」に乗車、『衣笠校前』より徒歩約10分
- ・市バス205「金閣寺道・北大路バスターミナル行き」に乗車、『衣笠校前』より徒歩約10分

(4) 京阪三条駅から来場する場合

京都市市バスをご利用の場合

- ・市バス15「円町・立命館大学前行き」(終点)
- ・市バス59「金閣寺・竜安寺・山越行き」に乗車、『立命館大学前』

アクセスマップ



N 会員発表（口頭・ポスター発表、自主シンポジウム）募集要項

1. 申込要領

- (1) 大会参加申込締切日（2014年3月31日（月））までに、同封の郵便振替用紙の研究発表申込の該当欄にチェックを入れ、所定の金額を振り込んでください。
- (2) 原稿提出締切日（2014年4月14日（月））までに、以下の原稿を大会準備委員会事務局まで**メールでご提出**ください。
- ①口頭発表・ポスター発表の申込・・・**発表申込書と発表論文集原稿**
 - ②自主シンポジウム・・・**発表申込書**

※1：自主シンポジウムについては、

お申込みいただける件数は1名につき1件です。（口頭発表・ポスター発表との重複は可能です。）

※2：筆頭発表者・代表者は正会員であることが条件です。

非会員の方が連名発表者となる場合は、大会参加費の納入が必要です。筆頭発表者・代表者は、非会員の連名発表者に納入いただくようお願いください。3月31日（月）までに納入いただきますと、予約参加費が適用されます。

2. 発表申込書・発表論文集原稿の送付

原稿提出締切日：2014年4月14日（月） メール入稿（jscp2014@gmail.com）

- ・ファイル形式は、MS-WORD をお願いいたします。
- ・論文集用原稿は、発表論文集原稿の書式に従って作成してください。
- ・発表申込書・発表論文集用原稿の書式は、学会ホームページ（<http://jscp1998.jp/>）から取得できます。
- ・メールでの入稿が難しい方は、大会事務局までご連絡ください。
- ・メール入稿が確認できましたら、大会事務局から確認のメールをお送りします。入稿から1週間経っても確認メールが届かない場合は、大会事務局までお問い合わせください。

3. 発表要領

(1) 口頭発表

質疑応答を含め、1件20分程度を予定しています。発表会場にはパソコン（Windows）、プロジェクターが用意されています。Macintosh を使われる場合はご持参ください。

(2) ポスター発表

横90cm × 縦180cm のスペースにポスター掲示をお願いします。掲示形式は特に定めませんが、参加者にわかりやすいよう、ポスター上部に発表タイトル・氏名と所属を明記してください。複数の発表者に関連した発表をされる場合は隣接した場所をご用意しますので、どの発表と関連発表であるかを明記してください。

(3) 自主シンポジウム

発表会場にはパソコン（Windows）、プロジェクターが用意されています。Macintosh を使われる場合はご持参ください。

※発表形式に関わらず、当日会場で配布する資料等がありましたら、ご自身でご用意ください。当日、会場での複写依頼等に応じることはできません。

4. 発表申込書・発表論文集原稿の書式

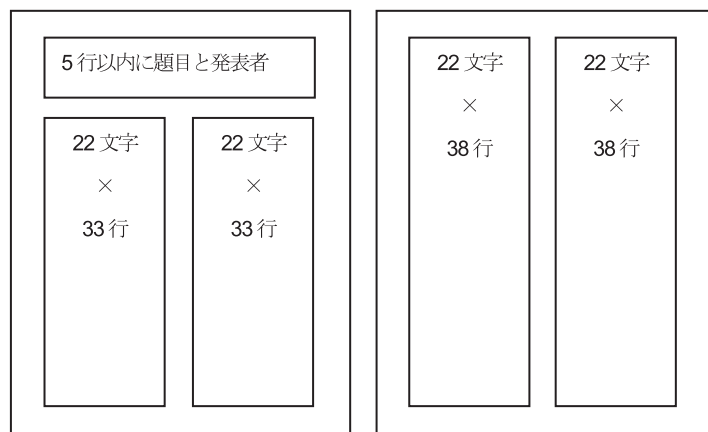
(1) 口頭発表・ポスター発表

- 発表申込書には、種別、タイトル、発表者（氏名、所属、会員・非会員の別）、関連発表の有無をご記入ください。
- 発表論文集原稿は A 4 版、2 段組み（段組みの間隔は 2 文字程度）、2 ページで作成してください。
- 余白は、上は 25 ミリ、下は 30 ミリ、左右は 25 ミリです。余白は厳守してください。
- タイトルは MS ゴシック・14 ポイント程度中央寄せ、発表者名と所属は MS 明朝・12 ポイント程度中央寄せです。本文は、MS 明朝・10.5 ポイント程度です。1 枚目の本文の字数は 22 文字×33 行、2 枚目の本文の字数は 22 文字×38 行ですが、大きく逸脱しない程度であれば、変更していただいても結構です。
- ページ番号は、絶対に打たないでください。
- 原稿（図表含む）は白黒（カラー不可）で作成してください。
- この書式は、学会ホームページ（<http://jscp1998.jp/>）から取得できます。

(2) 自主シンポジウム

- 発表申込書には、タイトル、登壇予定者情報（氏名、所属、会員・非会員の別）、企画趣旨（400 字程度）をご記入ください。採用された場合には、発表申込書に記入された内容が、発表論文集に掲載されます。
- 申込書の書式は、学会ホームページ（<http://jscp1998.jp/>）から取得できます。

口頭発表・ポスター発表の完成原稿イメージ図



タイトル部分の形式（イメージ）

コミュニティ・エンパワメント 村本邦子（立命館大学）

発表申込書見本

この書式は学会ホームページ (<http://jscp1998.jp/>) から取得できます。
ダウンロードした発表申込書にご記入の上、メールでご提出ください。

発表申込書

口頭発表・ポスター発表

1. 種別 ※1つ選んでください

口頭発表 ・ ポスター発表 ・ どちらでもいい

2. タイトル

3. 発表者 (行が足りない場合は付け足してください)

		氏名	所属	会員・非会員 一般・院生
筆頭	1			会員・非会員 一般・院生
連名	2			会員・非会員
連名	3			会員・非会員
連名	4			会員・非会員
連名	5			会員・非会員

※1：筆頭発表者は正会員であることが条件です

※2：非会員の方は、大会参加費を納入してください

4. 関連発表の有無

無 ・ 有 ・ ・ ・ 本発表は、_____発表中の_____番目

提出締切 2014年4月14日(月) 提出先: jscp2014@gmail.com

口頭発表・ポスター発表に申し込まれる方は、
この発表申込書と論文集用原稿用紙をご提出ください。

発表申込書

自主シンポジウム

1. タイトル

2. 登壇者 (行が足りない場合は付け足してください)

	役割 (司会・シン ポジスト・指定討 論・話題提供など)	氏名	所属	会員・非会員 一般・院生
代表者 1				会員・非会員 一般・院生
2				会員・非会員
3				会員・非会員
4				会員・非会員
5				会員・非会員

※1：代表者は正会員であることが条件です ※2：非会員の方は、大会参加費を納入してください

3. 企画趣旨 (400字程度)

提出締切 2014年4月14日(月) 提出先: jscp2014@gmail.com

※採用になった場合は、この申込書の内容が発表論文集に掲載されます